

第7回定例岡山県教育委員会議事録

- 1 日 時 令和7年7月18日（金）
開会13時30分 閉会 14時16分
- 2 場 所 教育委員室
- 3 出席者
- | | |
|--------------|-------------|
| 教育長 | 中村 正芳 |
| 委員（教育長職務代理者） | 上地 玲子 |
| 委員（教育長職務代理者） | 服部 俊也 |
| 委員 | 田野 美佐 |
| 委員 | 須江 健治 |
| | |
| 教育次長 | 後藤 博幸 |
| 教育次長 | 佐々木 亨 |
| 学校教育推進監 | 室 貴由輝 |
| 教育政策課 | 課長 小林 伸明 |
| | 副課長 小野 敏靖 |
| | 総括副参事 滝澤 容彦 |
| 教職員課 | 課長 荻田 直樹 |
| 生涯学習課 | 課長 滝澤 幸隆 |
| 特別支援教育課 | 課長 江草 大作 |
| 高校教育課 | 課長 鶴海 尚也 |
| 義務教育課 | 課長 横山 智康 |
- 4 傍聴の状況 0名
- 5 協議事項
(1) 令和8年度使用教科用図書の採択について
- 6 報告事項
(1) 令和8年度岡山県公立学校長（任期付職員）選考試験の実施について
(2) 「全ての人のウェルビーイングの実現に向けた公民館の取組」について
- 7 その他

8 議事の概要

開会

非公開案件の採決

(教育長)

本日の議題の審議に入る前に、議題の公開の可否について決定したい。本日の議題のうち、協議事項（１）は、教育行政の公正を確保するため、教育委員会会議規則第１２条に基づき、非公開とするよう発議する。

委員から、議題を非公開とする発議はないか。

(委員全員)

(特になし)

(教育長)

この発議は、討論を行わずにその可否を決定することとなっているので、直ちに採決に入る。協議事項（１）は、非公開とすることに賛成の委員は挙手願う。

(委員全員)

挙 手

(教育長)

全会一致により、本案件は非公開とすることに決した。

報告事項（１）令和８年度岡山県公立学校長（任期付職員）選考試験の実施について

・教職員課長から資料により一括説明

(委員)

昨年度は、任期付き職員の採用がなかったとのことだが、採用がない年が連続して、何か影響があるか。

(教職員課長)

全くない。

教育現場に民間企業経験者の校長を任用することで新たな風を吹き込み、そのマネジメント能力を発揮させることを目的とする。生徒への影響が大きいことから、適性を見極めた上で慎重に任用を進めていきたいと考えている。

(委員)

選考試験の案内が必要な人に届かないということがないように、昨年度と異なる方法での広報をすることは可能か。

(教職員課長)

昨年度の広報研究を踏まえ、今年度はPR TIMES、プレスウォーカー、元気ワークの３つのサービスを活用して広報活動を行っていく予定としている。PR TIMES は報道機

関向け発表資料・プレスリリース配信サービスで、プレスウォーカーは主に商品宣伝だが他県職員採用事例もある。元気ワークは中小企業向け求人サイトで料金無料のサービスとなっている。

(委員)

任期付職員選考試験に関して、成果、課題があれば教えてほしい。

(教職員課長)

他県のリクルート出身者など、民間経験者を校長に任用した事例を参考に、新しい視点を取り入れながら学校の魅力化、地域連携、グローバル化を目指す一方、学校風土の変化や教頭・副校長のサポート体制の構築が課題となる。他県の取り組みも参考にしながら、小中高それぞれの教育現場に適した方がいれば、校長として迎え入れたいと考えている。

報告事項（２）「全ての人のウェルビーイングの実現に向けた公民館の取組」について

・生涯学習課長から資料により一括説明

(委員)

公民館は地域コミュニティを繋ぐ上で世界的に見ても珍しい取り組みであり、その有効活用が重要である一方、職員数の不足が課題となっているとのことだが、専任配置は、やはり難しいものなのか。

(生涯学習課長)

専任職員配置について働きかけをしているが、経済的な理由もあり、規模の小さい自治体では、配置ができていないのが現状である。

(委員)

公民館に求められる方策として、「公民館に来てもらうきっかけ作りを重点的に進める」とあるが、具体的にどういったことを考えているのか。

(生涯学習課長)

例として、子供達が利用しやすいように自習室を設けることや、研修会において、声掛けを実施している。

(委員)

夏休み等を実施される、子供向けの講座等はあるのか。

(生涯学習課長)

夏休みの間は、子供向けの様々なプログラムを準備している公民館もある。

(委員)

それによって子供の利用は、どのように変化するのか。

(生涯学習課長)

夏休み中は、利用するために、朝から並ぶほど人気のあるプログラムもある。

(委員)

倉敷市では、学校で公民館でのイベント等についてあまり周知がなされていないように感じる。

(生涯学習課長)

岡山市は全国的に公民館活動が進んでいると思われる。

(委員)

空調も整っており、子供達がもっと利用できる場所となると良いと思うので、周知できる方法を検討してもらいたい。

(生涯学習課長)

比較的小学生の利用があるが、中高生になると、部活等もあり利用頻度は、少なくなっており、高齢者向けのイベントが多い印象。

(委員)

公民館職員が、地域や各種団体と会議等をしている公民館はあるのか。

(生涯学習課長)

地域による。

公民館連合会が開催するアワードなどを活用して、他公民館の優れた取り組み事例を学び、改善に役立ててほしいと考えている。しかし、職員不足（正規職員不在、兼務、非常勤職員）が現状の大きな課題となっている。

(委員)

公民館は重要な役割を担っているものの、利用者の高齢化や特定分野への偏り、若い世代への情報が届いていないことなどが課題として挙げられている。特に、SNSなどのデジタル広報の活用状況について知りたい。

(生涯学習課長)

多くの公民館がホームページで講座情報を掲載したり、公民館だよりを作成しているものの、それらが十分に地域住民に届いていない、認知されていないという課題があると考えている。

公民館と市町村教育委員会の２本柱で今後の取り組みを進める方針であるが、特に大規模な広報活動については市町村教育委員会が中心となって実施すべきと考えている。

以 下 、 非 公 開 の た め 省 略

閉会